

## ベトナム子供基金

〒113-8642

東京都文京区本駒込2-12-13

アジア文化会館内

TEL:03-3946-4121 (代)

FAX:03-3946-7599

## ベトナム青葉奨学会

QUY HOC BONG LA XANH

c/o TRUNG NHAT NGU DONG DU

43D/46 Ho Van Hue, Phu Nhuan

Ho Chi Minh, Viet Nam

TEL:84-8-8477359 FAX:84-8-8477527

## 青葉奨学会のハウエ氏来日、東京にて報告会開催

ベトナム子供基金は7月29日、ベトナム青葉奨学会代表のグエン・ドク・ハウエ氏を迎え、同奨学会の現状を報告する「ハウエさんを囲む会」をアジア文化会館にて開催、全国各地から約30名の会員が参加しました。ハウエ氏は、青葉奨学会の方針や学校建設、子供たちへの精神的援助などについて、概略以下のとおり報告しました。

皆さまのおかげで、今年2000年は1200人近くの学生に奨学金を配ることが出来ました。その半分以上は子供基金からの奨学金です。これまで対象の学生は、ほとんどホーチミン市の近辺でしたが、いまは全国的な規模になっております。現在、青葉奨学会の方針として、ホーチミン市だけでなく、もっと必要なところ、貧しいところ、特にベトナム北部に支給するように努力しています。

運営については問題ありません。いま日本人現地スタッフは、脇平さんが帰国

されたので、後任の高橋さんがバリバリやっております。ベトナム人のスタッフはリエンさんとマイさん。マイさんは新しく入られたスタッフで、以前は高等学校の校長をされておりました。

奨学金は、ホーチミン市近辺では2か月に1回、学生に直接渡しています。遠隔地は直接渡せませんが、3年ほど前、各県ごとに奨学会ができました。奨学会のメンバーには、仕事を退職した人々が、自分の子供、甥姪の世話をするという、しっかりした人が大勢います。みんな誠意を持って一生懸命に次の世代を世話する方々ですから、遠いところは各県の奨学会を通じて学生に手渡します。だから、皆さんのくださった奨学金はちゃんと学生の手元に届いています。ご安心下さい。

### 2000年は4校を建設

奨学金以外では、学校を建設しています。数年前、子供基金によって一番南のジャングルの中に建てられた学校ですが、





一度台風で屋根が壊れてしまいました。しかし、その後修理をして元に戻しました。昨年は同じ規模の学校を2校作りました。今年は4校作る予定です。1校は中学校で、3校は小学校です。

小学校は子供基金の協力で建てられます。校舎はありますが、屋根は椰子の葉ですので、空が見えます。雨が降ると勉強ができません。それから床は泥のままです。だから子供基金の協力で、床もタイルを敷いて、屋根もトタンにします。でも、雨の日はトタンがやかましいし、晴れた日は暑くて勉強ができませんから、天井も作ります。そういうのが2校あります。もう1校は私はまだ行っておりませんが、脇平さんが視察に行きました。ただ、新しい教室を3つ建てるつもりでしたが、その教室を建てるためには、ボロな学校ですから、壊さなければなりません。しかし、壊すのはもったいない。まだ学校がないところもあるんです。いまあるものを壊して新しいものを作るのは罪があるような気がしますので、東京のベトナム子供基金の意向も聞いて、最終的に中学校を作ることにしました。

それから、静岡県磐田市のユネスコ協会の協力で、山の中に小学校をもう1校作ることを計画しております。

学校建設のほかに、毎年、事務局の方も協力して、お正月に奨学生以外の街の

親のない子供たちや、靴磨きの子供たちに、新しい服を一着ずつ贈っています。

昨年から青葉奨学会は正式に政府に認められて、自由に活動できるようになりました。全国的に、青葉奨学会の存在は大事なものとして、みんな評価してくださっています。

### 精神的支援の重要性

学生は奨学金を貰って喜びますが、それは物質的な援助です。精神の方は、まだやっておりません。皆さんの心を学生に伝えることが、まだできていません。物質的、精神的、両方の支援があって、はじめて青葉奨学会・子供基金は価値があるんです。現時点ではまだ半分しか、皆さんに大変申し訳ないですが、私はまだ責任を果たせていません。

いままで、私は日本語学校のことで忙しくしておりました。しかし、やっと日本語学校も軌道に乗ってきておりますので、青葉奨学会の方に時間を割くことができます。私は頑張って残りの半分、つまり精神的な世話、皆さんの気持ち、私たちの願っていることを子供たちに伝えたいと考えております。

今回、私はアメリカを廻って帰ってきました。日本にいたベトナム人留学生から大勢アメリカに住んでおります。サンフランシスコの近くで大きな集まりがあり、300人以上集まりました。その中に私たちの世話した東遊（ドンズー）学舎の学生が50人ほどいました。私が35年前にまいて苦労して育てた種が実るのを見て大変うれしかったんです。その場を借りて、青葉奨学会のことを紹介しました。そうしたら、みんな大いに歓迎してくれました。青葉奨学会は、アメリカ全土のベトナム人の間に広がっていきます。

実は、2000年12月までにすべての仕事

を片付けて休もうと思っていました。しかし、アメリカの旅行でどうも辞められそうにないと思いました。だからまだ数年間、頑張らないとダメです。青葉奨学会の精神的支援と、それから日本と、アメリカの元日本で勉強した方々と今の政権との橋渡しの役割を何とか自分ができるところまで頑張りたいと思います。

### 質疑応答

**会場** 私は子供基金に4、5年お世話になっています。里子は今年高校3年生になり、一応これで奨学金は終了します。ですが、ベトナムの観光を含めて、是非、本人に会ってみたいと思います。

**ハウエ** 大いに歓迎します。是非ベトナムにいらして、里子に会って本人の成長を見てください。それからベトナムの現状をご覧になってください。

**会場** 来年、ベトナムで里子に会う予定です。何か簡単なお土産を持って行きたいのですが。

**ハウエ** 学生にはノートのような道具が一番です。普通の学生はノートぐらいは簡単に買うことができますが、貧しい学生はノートやボールペンが必要です。できれば高価なものは避けてください。大ぶりのノートもベトナムで買って下さい。日本とベトナムではノートの罫線が違います。それから日本のノート1冊でベトナムでは4、5冊も買えます。

**会場** 青葉奨学会とベトナム子供基金の関係がよくわからないのですが。

**ハウエ** ベトナム国内では奨学金は青葉奨学金といいます。しかし、海外で支援していただく方に一人ずつ送金していただくのは大変です。しかも経費もかかります。東京の近辺は子供基金が窓口になり、ご寄付いただいたお金を集めて送っていただきます。そのほかに、金沢の北

陸ベトナム友好協会、沖縄の青葉奨学会沖縄委員会とあわせて、3つの窓口を通して青葉奨学会を支援していただいています。

**事務局** ボランティア団体としてベトナム子供基金がスタートしたのが95年の6月です。こちらでは資金を集めて、ハウエさんの方で自由に奨学金なり学校建設なり、ベトナムの子供たちの教育のために使ってもらいたいと考え、いろんな方に呼びかけて会員になっていただきました。

ただ一件だけ例外があります。子供基金のある運営委員とその友人が、ホーチミンに行って、ストリートチルドレンの子供たちと交流する機会がありました。その子供たちの実情に非常に胸を痛めていました。その子供たちを支援しているタオダンというベトナム人の青年たちのグループがありますが、そのタオダンがある時期に外国からの資金援助がなくなってしまったのです。これはハウエさんの本意とは少しはずれますが、ハウエさんを通じて、その子供たちを支援するベトナムの青年たちに、2年間だけですが、年間100万の支援をしたことがあります。

**ハウエ** いまの若い人たち、特に子供たちには、理想が全然ありません。お金をもうけるだけです。それではダメです。私たちの世代では国が戦争をしていましたから、平和になったら、私は橋を造る、私は医者になって病人を治してあげると、そういう夢をみんな持っていました。いま子供たちはそういう教育をされていません。やはり、こういう小さい子供に夢を持たせること、それから仁愛、お互いの心を結びあう気持ち、そういうことは幼いときから情操に植え込まなければならないのです。

**事務局** またこういう機会を持ちたいと思います。ありがとうございました。

---

---

## 〇〇〇里子の手紙 〇〇〇里親の手紙

ホーチミン市2000年6月2日

里親様

季節の到来を告げる驟雨が去ると、雨の滴が光を浴びてきらきら輝き夏を迎えます。私の国ではこの季節になると、火焰樹が一斉に咲き始めます。真っ赤な花は、一面空を覆いつくし、とても綺麗です。

里親様、今学年の終了5日後には、卒業試験があります。ベトナムでは、10学年（高校1年）に進学すると、当然アオザイを着て通学します。私は、来年のそのときを迎えたら、きっと自分自身が成長したと思うでしょう。

とてもいいお知らせがあります。私は、「非常に優秀な中学生」が受ける試験において、2番目のランクで合格しました。喜んでくださいね。

ところで、「青葉奨学会」の出しているお手紙が張り出されていて、偶然ある記事が目にとまりました。それは、ある里親様について書かれたお話です。ご存じでしょうか。退職されたという、車椅子の男性の方のことです。私はいままでにない感動を覚えました。本当に涙が出そうになったのです！

それにしても、私を援助してくださっている里親様について、私は名前以外は何も知らない、どうしてそれだけしか知らないのかしら…。とても悲しくなりました。この手紙が里親様の手元に届けられ、読んでいただけたら、お返事をくださるよう待ち望んでおります。私からのこの手紙を、遠い地にいる里親様の子供からの手紙が届いたと思って読んでくださるよう、願っております。

里親様、お元気でしょうか。いかがお過ごしでしょうかとお伺いいたします。里親様が益々ご活躍されますよう、私はいつもお祈り申し上げます。私が次に受ける試験でも、いい結果が出せるようお祈りしててくださいね。私の両親と同じように、私の成長を見守ってくださいね。さようなら、里親様。

KO-112 里親様の子供 Tran Thi Bich Diem (チャン・ティ・ビック・ジエム)  
追伸 この手紙といっしょに「鳳凰」（火焰樹の花で作った蝶）を送ります。



ジエムさんへ

こんにちは。今日は私にとって、とても嬉しい最良の日でした。いまあなたから届いた手紙を何度も読み返しています。とてもよい成績で試験に合格したというニュース、おめでとう！ あなたが優秀で、先生やお友だちからも大変慕われていることや、責任感の強いこと、そして優しいことが文章から伝わってきます。そして美しい火焰樹の花をありがとう。小さな額に入れてお部屋に飾りましょう。そうすれば、いつもジエムさんが近くにいるような気持ちになります。いままでお返事を書かずにきてしまったこと、ごめんなさいね…。

KD-299 菊池幸子

※注：菊池さんの手紙は、一部抜粋して掲載しました。（編集部）

---

---

# 奨学生 ヴー・ヴィエット・タイ君 銀メダルを受賞

## アジア太平洋数学オリンピック ベトナムの10人の学生、すべて賞を受賞

教育省からの情報によると第12回アジア太平洋数学オリンピックで、ベトナムから参加した10人の学生は、団体平均26.3点を取った。同時に彼らは過去最多の10人全員が賞を受賞。18か国187人が参加したこのコンテストで、ベトナムは団体別では台湾、韓国、アメリカに次いで4位だった。グエン・チュン・ラップ君

(ヴィンフック省)が金メダル、ヴェー・ヴィエット・タイ君 (ナムディン省)ら2人が銀メダル、ドー・チュオン・ザン君 (ハノイ市)ら4人が銅メダルを獲得したほか、残りの3人もそれぞれ賞を受賞した。【ハノイ6月8日=トイチャー新聞より】

### Hệ thi toán châu Á - Thái Bình Dương: cả 10 HS đội tuyển VN đều đoạt giải

(TT-Hà Nội) - Theo tin từ Bộ GD-ĐT, trong kỳ thi toán châu Á - Thái Bình Dương lần 12 (AMPO-12), đoàn VN gồm 10 HS đã đạt điểm bình quân đồng đội là 26,30 điểm, đồng thời chiếm trọn vẹn số giải cá nhân tối đa mà thể lệ cuộc thi qui định. Đoàn đã giành vị trí thứ tư sau các đội tuyển Đài Loan, Hàn Quốc, Mỹ trong tổng số 18 nước dự thi với 187 thí sinh. Cả 10 HS đều được giải, trong đó HS Nguyễn Trung Lập (tỉnh Vĩnh Phúc) được huy chương vàng; hai HS Vũ Việt Tài (Nam Định) và Bùi Việt Lộc (khởi chuyên toán ĐH Quốc gia Hà Nội) giành được huy chương bạc. Bốn huy chương đồng thuộc về các HS: Tạ Anh Sơn (Phủ Thọ), Đỗ Trường Giang (Hà Nội), Nguyễn Quang Bằng (Hải Dương); Nguyễn Anh Quân (Hải Phòng);

### タイ君からの手紙

ナムディンにて5月24日

里親様へ

はじめに、里親様とご家族の皆様のご健康とご成功をお祈り申し上げます。

里親様！ いま私は1999-2000年度の終わりの準備をしています。この1年、私は勉強に励み、注意して修養し、道徳を鍛錬しました。その結果、通年で、私は校長先生に「非常に優秀な生徒」と認定され、1年間の平均が9.0点で良い成績であると認定されました。この機会に私は里親様にこのニュースを喜んでお知らせいたします。

この1年、私は全国数学学生選抜テストに参加し、2位になりました。同時に私はアジア太平洋数学オリンピックにも参加し、銀メダルを取りました。この結果により、私は特別に卒業資格を得、大学へ入学することを許されました。私は大変うれしいです。それは、私のこれらの結果が学校の業績の一部に貢献できたからです。私はちっぽけですが、これらの結果は、友人たちや家族、先生方、そして里親様に差し上げるプレゼントになりました。

里親様！ これまでずっとご援助くださったことに大変感謝しています。まさに里親様の途絶えることのないご援助そのものが、私の勉強の大きな励みとなり支えでありました。私は、里親様が私にくださるお気持ちにふさわしいように、常に勉強と鍛錬に努力することをお約束申し上げます。

VU VIET TAI (ヴェー・ヴィエット・タイ)

ナムディン省 レ・ホン・フォン高校3年 数学専攻

## 初めてホーチミン市を訪ねて

小河原 理枝

ベトナムで最も活気あるという商業都市ホーチミンを初めて訪れる、本間さんと私、仕事で何度もいらしている岡村さんと、里帰りしているニーさんの案内で旅は始まりました。

数年前までは、自転車のラッシュだったそうですが、いまはバイク、バイクの波。それも2人、3人、両親と子供の4人乗り！ ほほえましい光景です。そのバイクの波のなかを車が警笛を鳴らしながら走っているのです。道路の横断には日本では考えられない、緊張感を味わいながらの横断を経験しました。

屋台での食事中、市場の買い物中、花売り、宝クジ売り、靴みがきなど子供の売り子の声をたくさん聞きました。学校へ行ける子供は幸せです。歩いて通学している子供は見かけません。小学生は親がバイクで送り迎えするとの事。歩くのは危険だそうです。

女学生が真白いアオザイを着てバイクで通学している姿は大変優美でした。

最後の日、本間さんと私も里子がホーチミン在住でしたのでお会いすることができました。ホテルのロビーで待ち合わせ、本間さんは女の子、私は高校1年生の男子ハオさんと母親にお会いしました。ハオさんはとても優しく素直で、昨日は眠れなかったと話され、胸が熱くなりました。彼は病弱で学校を休みがちのため、成績が少々下がりましたが、援助を続けていてよかったと思いました。

言葉が通じなくても“以心伝心”、心のふれあいが出来て有意義な時間を持つことが出来ました。お別れするとき、お母さんが泣いてしまい、私も涙しながら伯父さんのバイクに乗った二人の姿にいつまでも手を振り続けました。子供たちが大人になる時代には、街にはストリートチルドレンの姿も見ない優雅な住み良い国ベトナムになることを願っています。

お忙しいなか、脇平さんをはじめスタッフの皆さん、お世話になりました。



左から筆者、筆者の里子、本間さんの里子、本間さん

# GAP LAI NHE

本稿は、6月からベトナム子供基金のホーチミン市駐在スタッフとしてご活躍いただいている高橋佳代子さん（写真）が個人的に執筆している「メールレター」を転載したものです。タイトルの“GAP LAI NHE”は、ベトナム語で「また会いましょう」という意味です。（編集部）

5月も半ばに入り、サイゴンは本格的な雨季に入りました。日本ではそろそろ梅雨の季節がやってくるころでしょう。みなさんいかがお過ごしですか。

さて、みなさんは「ベトナム」という言葉を聞いて何を思い浮かべますか？ ベトナム戦争、枯葉剤、難民、生春巻き、東洋のプチパリ、社会主義国…。世代によっても、男女によってもイメージは違ってくるでしょう。私も初めてベトナムを訪れた時は、「かつてベトナム戦争のあった国」というイメージしかありませんでした。

その後、幾度となくこの国を訪れるようになってからは、戦争というイメージよりも日本と同じように、普通に生活している人がいて、泣いたり笑ったりしている（私は買い物をしてよくぼられて怒っている）現実を見るようになりました。そんな姿を見て、どんな遠い国から「お隣さん」に近い親近感を感じるようになりました。



## HONDAと味の素とKARAOKE

さて問題です。この3つの言葉の共通点は何でしょう？ これらは、おそらくベトナム人なら誰でも知っている日本語です。



HONDAとはベトナムではオートバイを意味します。オートバイのことをベトナム語ではセーマイ (xe may) というのですが、特に南部ではセーホンダが一般的です。カブタイプのオートバイであればなんでもセーホンダになるわけです。だいたい一家に1、2台はあります。ベトナムでは家と同様にオートバイは財産とみなしているため、大変価値のあるものとして大切にします。（ちなみにホンダの新車は約2300ドル＝約25万円。ベトナム人の平均収入が月80ドル程度なので、いかに高い買い物かわかります。）

次に味の素。化学調味料の一種です。「味の素は世界一」という宣伝文句のとおり、台湾製、中国製、韓国製よりも人気があるようです。最近味の素を多量に摂取すると、人体に悪影響があるという事実が知られるようになり、一般家庭ではあまり使わなくなってきました。しかし、普通の飲食店ではま

だまだお構いなしに使用しているので、注文する時「味の素はいらないよ」と言ったほうが美味しく食べられます。余談ですが「味の素」はスラングで日本人を冷やかす時に使ったりもします。

最後にKARAOKE。きっとこの言葉は世界中の人が知っている言葉でしょう。日本で「カラオケに行く」といえば歌を歌うために行くと考えるのが普通です。ベトナムでも、もちろんそうなのですが、なかには日本のクラブのようなカラオケもあり、売春などの行為がされたりすることもあるそうです。でも最近では、娯楽のひとつとして、歌を楽しむ場としてのカラオケもたくさんあります。カラオケが苦手な私は数回しか行ったことがありませんが、楽しそうですよ。

この3つの言葉は、すべて商品の名前です。その他にもソニー、ヤマハ、スズキ、ヒタチなど日本製品は高品質・高価格としてベトナム人に知られています。（私も外国に住んで初めて日本製品の素晴らしさを知りました。）そのくらい日本製品はベトナムの経済の中で大きな割合を占めています。

反対に日本人のベトナムに対するイメージは文化面や、歴史に関することが多いように思います。それが良いか悪いかはわかりません。ただお互いにとどの部分から日本を、ベトナムを見るかによって、イメージする言葉も違ってくると思います。このレターの中だけでも、できるだけ身近な話題を通して、いままでとは違った面からのベトナムを伝えていきたいと思います。



## サイゴンの街角から

ベトナムにはあらゆる職業がある。日本人から見ると、「そんなことまで職業にしてしまうの？」とびっくりするくらい。体重測り屋（1回約10円）、バイク・自転車の修理屋（パンクが約100円）、ペットボトル回収屋、マッサージ屋などなど。

そのひとつに“新聞売り”がある。ベトナム人はよく新聞を読む。朝8時ごろには街のあちこちでいろいろな新聞が売られている。（ちなみに私の購読紙は「SAIGON GIAI PHONG（サイゴン解放）」と、「QUOC TE（一際）」。）新聞配達を使っている人もいる。しかし、それとは別に“新聞売り”という職業を持った人たちもいる。街の中心の目抜き通りではベトナムの新聞のほかに、英字新聞、仏字新聞、そして時には、朝日新聞、読売新聞までも彼らによって売られている。

ベトナムの新聞は1000～3000ドン（約10～30円）ぐらい。それに500ドンを上乗せして売るのだが、果たして儲かっているのかはわからない。失業率の高いベトナムでは選択の余地がないのかもしれない。しかし彼らは、スコールの降る日、日差しが強い日、「AI MUA BAO DAY」（誰か新聞を買いませんか？）と、掛け声をかけながら新聞を売っている。

## こんな日もある

早いもので、サイゴンに来てから約2か月。最初は暑さに悩まされ、そしてサイゴン弁に悩まされ、落ち込む日も多々あり。そんなとき、ベトナムでよくある「停電」が起ると、気分はもっとブルーに…。

朝の8時から既に停電は始まっていた。ベトナムでは小さな地域ごとに停電が勃発するが（時には事前連絡が来る）、街全体、区全体が停電になることはめったにない。一流ホテルや外国人専用マンションには、自家発電があり、その地域が真っ暗な中でも光をこうこうと放っている。1, 2時間の停電ならハノイでもよくあった。しかし今日のサイゴンの停電は長い。

大学から帰ってきててもファンは止まったまま。冷蔵庫のヨーグルトは溶けてしまっている。

午後2時、雨季にはお決まりのスコール。今日のスコールはあまり強くない。雨音がゆるやかだ。

短い休息の後、停電が終わっていることを期待して、ファンのスイッチを入れるが、動かない。

普通、停電の時には、涼しさを求めて外へ脱出するのだが、今日は体調が良くないことと重なって、外出する気分にもなれない。

そうしているうちに、だんだん日が暮れてきた。昨年オープンした日系企業のデパートのネオンが輝きだした。あの看板の1文字分の明るさがあったら…。

ベトナムでは停電は日常茶飯事。だから必ず懐中電灯、ろうそくを常備しておくのが常識。それにもかかわらず、うかつだった私は、これらの2つとも持っていなかった。（こんな時に改めて自分の性格を嘆く。）

現在20時20分。大家さんがろうそくを持ってきてくれる。大家さん曰く、「あとちょっとで、電気がつくよ」。しかし、ベトナム人の「あとちょっと」は時に1, 2時間を指す。いったいいつになったら停電は終わるのだろう。

日本では台風の時ぐらいしか停電は起こらない。ベトナムの都市では電気・水道はまだ十分な量があるわけではなく、住んでいる地域によっては慢性的な電気・水不足というところもある。私が住んでいる1区は比較的外国人が多く住んでいるので、恵まれている。

水でも電気でも「あって当然」と考えるのはおかしい。蛇口をひねればすぐに水が、スイッチをつければすぐに灯りが、と思う前に、いったいこの水はどこから来ているのだろう、電源入れればなしのものはなかったかなあと考えてみると、また新たな資源に対する思いがでてくるのではないだろうか？

結局、この日は8時40分に停電は終わった。長い停電だった。

(5月17日 自宅にて)



### あとがき

今回から、メールアドレスを持っている皆さんには、メールレターと称して送ってみることにしました。

気軽に感想、意見、希望、質問を返信してもらえたら、うれしいです。

もう少したったら、インターネット上で、いろいろな人の意見が自由に交換できる場を作りたいと思っています。

次回は、ベトナムという国、そして北のハノイと南のサイゴンについて書きたいと思っています。

ホーチミン市にて 高橋 佳代子  
電子メール: kayoko@hcm.fpt.vn

(カット: haohao cafe)

## ベトナム滞在記 その1

脇 平 裕 美

神戸。1995年1月17日。私の22歳の誕生日。「おめでとー。」「ケーキ食べよー。」「ろうそく20本にしとくー？」……なんて会話はもちろんなかった。覚えていらっしゃるだろうか。この日を。私は忘れていない。ガスもれの臭いや立て続けに起こった余震におびえた日々を。

当時大学の3回生だった私は、近づいていた春休みを利用してタイへ卒業後の住み家を探しに行こうと目論み、準備中だった。興味のあった教育関連NGOのいくつかを現地へ「直接訪問！」企画中だったのである。それどころではなくなくなったのは言うまでもない。被害が比較的軽かった自宅は落ち着いたものの、海外旅行なんて出られる状況／心境ではない。しばらく被災地の中心でお手伝いを始めることにした。

「ベトナム人の被災者たちがもう一度日本語を勉強したいらしい」。言葉の壁のために避難所で差別されたのだろう。真冬の、すきま風だらけの公園のテントにたくさんのベトナムの方々が集まり、被災ベトナム人日本語教室が始まった。次第に私はこの、ヘンな関西弁を使いこなす陽気なベトナム人たちに魅かれていったのである。授業中にもかかわらず祖国の料理や街の様子を一生懸命説明してくれる。何よりも自分の国に対する誇りを感じた。そしてそれは私が十分に持っていないものでもあったのである。

よーし、予定変更。ベトナムにしよっと。ま、隣の国やし、えっか。とり

あえず食べるために現地の日本語教師の職を得た。ここだけの話だが、この職業を私はただの「現地NGOを探すまでの“つなぎ”」にしたのだ。世界中でご活躍の日本語教師の皆様、ごめんなさい。とにかく私は私なりに、「いつでも全力投球」をモットーに、サイゴンへ乗り込んだ。

暑い。うるさい。ほこりっぽい。先輩方の授業見学や迫ってくる初授業を考えると南国の当たり前の暑さがさへ暑く感じる。でもここは陽気な南国。冷えたベトナムコーヒー1杯ですべてがまるうく収まる。いつものアイスコーヒーからステップアップして、今日はアイスマルクコーヒーにしてみよう。「おばちゃん。アイス、ミルク、コーヒー。砂糖、なし、ね。」つたないベトナム語でがんばった。

「☆# \$ % & △！」

……何かゆうてる。でも分からん。とりあえず日本人は笑顔笑顔。来た来た。おばちゃんがミルク入りのコーヒーを持ってきた。通じたやん。ん?? あ、甘い。

「おばちゃん、砂糖、なし、ってゆ、たやん！！」

「△&% \$ # ☆！」

また分からん。自分の語学力を反省。もう一度「砂糖なし」の発音を練習しよう。……。ベトナムのミルクコーヒーのミルクは練乳。つまり「砂糖抜き」のミルクコーヒーなんて不可能だ、という事実を知ったのはそれから1か月後だった。（つづく）